

平成19年観光客動態調査の結果について

平成19年における観光客の動向

平成19年(1月～12月)における本県の観光客は24,353千人で、前年に比べ952千人の減少(対前年比 3.8%)となった。なお、平成18年に開催された国民文化祭の来場者1,454千人を差し引いた形で調査結果を比較すると、503千人の増加となった。

〔主な増加市町〕

(単位：千人、%)

市 町	増加	対前年比	主 な 要 因
下 関 市	169	+2.8	角島・海峽ゆめタワー・海響館の増加、豊田・豊浦地区温泉施設の増加
岩 国 市	129	+3.9	錦帯橋及び周辺観光施設の増加
秋 芳 町	96	+11.3	秋芳洞・秋吉台等の増加

〔主な減少市町〕

(単位：千人、%)

市 町	減少	対前年比	主 な 要 因
山 口 市	176	5.4	県立美術館企画展の減少等
美 祢 市	17	9.9	歴史民族博物館・化石館の減少
阿 東 町	16	2.8	長門峡等の減少

注) 以下の「県外・県内別」、「日帰り・宿泊別」観光客の動向については、国民文化祭来場者(1,454,480人)に係る内訳が不明であるため、国民文化祭分を除いた数値で比較している。

県外・県内別観光客の動向

・県外客は11,859千人で、動物園等の体験型観光施設への集客増加や県境市町の観光客増加等により、前年に比べ393千人の増加となった。

地域別には、九州・沖縄、関東、中部、北海道・東北、その他からの観光客は増加したが、中国、近畿、四国からの観光客は減少した。

・県内客数は12,494千人で、星野哲郎記念館オープン効果(平成19年7月開館)や道の駅等への集客数増加等により前年に比べ110千人の増加となった。

日帰り・宿泊別観光客の動向

・日帰り客は20,898千人で、前年に比べ516千人の増加となった。

・宿泊客は3,454千人で、前年に比べ13千人の減少となった。

【山口県における過去10年間の観光客数】

(単位：千人、%)

年	観光客数	前年対比	特記事項
10	22,110	92.3	明石大橋開通、景気低迷、サビエル記念聖堂再建
11	21,051	95.2	しまなみ海道開通、景気低迷、夏場の天候不順
12	21,231	100.9	角島大橋開通、秋吉台エコミュージアム、好天候
13	25,504 (22,990)	120.1	大型観光キャンペーン実施(7月~9月)、山口きらら博の開催、「海響館」のオープン
14	22,862	89.6	首都圏・九州観光キャンペーン開始、錦帯橋の架け替え、冠山総合公園オープン、ダブルトラック化
15	22,849	99.9	大河ドラマ「武蔵」の放映、錦帯橋の架け替え、金子みすゞ記念館オープン、のぞみ停車
16	23,258	101.8	錦帯橋の架け替え完了、秋の行楽シーズン時の悪天候
17	23,828	102.4	愛・地球博開催、大河ドラマ「義経」の放映、台風14号による災害
18	25,304 (23,850)	106.2	国民文化祭開催、やまぐちフラワーランド開園、美祢サーキット閉鎖
19	24,353	96.2	星野哲郎記念館開館、体験型観光施設集客数の増加

注) 記載数値については、四捨五入のため計数が一致しない場合がある。
平成13年及び18年の()は山口きらら博、国民文化祭来場者をそれぞれ除いた数値。

